

東洋「赤水対策」シリーズ

東洋赤水対策シリーズとコアタイト®バルブについて

■東洋赤水対策シリーズバルブ

近年、水質の悪化や管工機材に異種金属の組合せが増加したことから、赤水の流出やバルブの局部腐食が増加しています。これらの対策として、管材は鋼管から銅管、塩ビ管、各種ライニング鋼管、ステンレス鋼管などの耐食性の優れたものが使用されるようになってきました。当社は、これらの多様化する管材に対応するバルブの開発に取組み、「東洋赤水対策シリーズバルブ」として完成させました。

(1) 東洋鑄鉄ナイロンライニングバルブ

腐食しやすい鑄鉄の内外面をナイロン樹脂でライニングしたバルブで、JISねずみ鑄鉄弁規格品のゲート・グローブ・スイングチェック・バタフライバルブやストレーナ・ボールフートバルブを品揃えしています。…44頁参照

(2) 東洋コアタイト®バルブ

ライニング鋼管や青銅バルブを使用しても解決することができなかった“ねじ接合部の腐食”を解消するとともに、施工性や経済性にも優れた、青銅ねじ込みバルブです。〈国土交通省仕様書、日本バルブ工業会規格JV5-1、JV5-2適合品〉…15、16頁参照

(3) 東洋ステンレスバルブ

耐食性・耐熱性・耐酸性や機械的性質などに優れたステンレス鋼で作られたステンレスバルブは、化学工業用や食品・薬品工業用分野で使用されていましたが、建築設備用分野にも数多く使用されはじめ、今や汎用バルブの仲間入りをしています。

東洋ステンレスバルブは、用途別に体系化と品揃えを図り、広範な市場ニーズに対応します。…80～88頁参照



腐食した鑄鉄バルブのジスク



激しく腐食した鑄鉄バルブの内部



■東洋コアタイト®バルブ

鋼管の内面を塩化ビニル樹脂やポリエチレン樹脂でライニングしたものが普及していますが、バルブとねじ接合する場合、つぎの問題が生じています。

(1) ねじ山管端面が腐食

ライニング鋼管にねじ加工を施すため、ねじ部分や管端面は鋼管が露出しています。したがって、この箇所より腐食が発生しても管内に赤水が流出するとともに、写真に示すように管内にさびこぶが形成されて通水量が低下したり、ねじ山が欠落して外漏れが起こります。

(2) 一般バルブでは対策不可能

管端防食コアが発売されていますが、これを一般のバルブのねじ室に装着しても、バルブのねじ室の構造・形状・寸法などの関係から防食効果を期待することはできません。

(3) 管端防食にはアダプタが必要

接合部の腐食を防ぐには、耐食性ニップル+防食ソケットや特殊アダプタを介して接合する必要があり、継手部材が多くなることによる施工工数の増加とコストアップ、それに漏れ発生の要因の増加になります。

以上の問題点の解決を図った製品が「東洋コアタイト®バルブ」で、赤水抑制効果を十分発揮するよう、設計および加工上細かな配慮がされています。



ねじが欠落したライニング鋼管



管端からさびを発生した
コアなし青銅製バルブ



さびこぶが形成されたライニング鋼管

SK—水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管用 (V)、水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管用 (P) 両管に共用できる (コア内蔵形®)
HN—水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管用 (コア内蔵可動形®)

東洋コアタイト®バルブは、給水用 (SK)・給湯用 (HN) 共に『コア』が組込み内蔵タイプとなっており、配管 (バルブ) 廃却時には、管と共にコアがバルブから取り外せる構造となっています。

樹脂材 (コア) と金属材 (バルブ本体) とが**分別廃棄可能な『地球にやさしい』東洋コアタイト®バルブ**をどうぞ!